



# 島根県ケアマネジャー大会に参加して

## 「ケアマネジメントの原点に還る」

～各フィールドからのメッセージ～

グループホームしんわ

阿式 洋子



タイトルに惹かれて参加した研修大会は、講演、事例発表、研究発表、パネルディスカッションとそれぞれ今、私達が直面して考えていかなければならない問題について考察されており、とても参考になりました。

又講演者の楽しく話される話術に引き込まれ、私達が日々利用者に接していく役割もわかりやすく再確認出来ました。車は両輪のタイヤで走ります。前輪の①楽しみ、②居場所、③役割。後輪の④体力をつける、⑤衣食住、⑥病まない、利用者の人権を尊重していく姿勢⑦愛情、⑧尊敬⑨美徳など私達が覚えやすい様に工夫もして頂きました。“介護は欲を支援することが大切”との言葉が残っています。

最後に資料の中の「過去」と「他人」は変えられない。しかし、「将来」と「自分」は変えられる。の言葉に勇気と希望を覚え、明日から利用者のよりよいケアマネジメントを目指して使用者に向き合っていこうと思いました。

「ケアサポートことぶき」は、  
高齢者の方の  
家での暮らしを  
応援します。



開設 介護福祉センター  
松江ケアプランセンター 0852-33-7303  
〒690-8628 松江市黒田町3-1-5  
介護保険の相談・申請の代行、ケアプランの作成、介護施設の紹介など  
(デイサービス)(ケアプランの作成)(福祉用具のレンタル・販売)など  
高齢者介護サービス  
南「ケアサポートことぶき」  
0852-60-0660  
TEL:0852-60-0660 FAX:0852-60-0660 http://hoj-matsue.com/kotobuki/



福祉用具レンタル・販売 住宅改修 セーフティホーム 24  
TEL.0852-22-3553

各種医療機器・医療設備  
介護福祉用具・販売レンタル

株式会社ピー・エム・エス  
Planning Medical Service

〒690-0876 島根県松江市黒田町344-3  
TEL0852-31-2270 FAX0852-31-2205

## ～松江市ケアマネジャー研修会に参加して～

なぎさ居宅介護支援事業所  
安達承子

介護支援専門員の利用者主体、自立支援の視点を高める目的で1月20日に研修会がありました。研修会の開催に先立ち、昨年の12月に「一事業所一名参加一事例の提出」という事で案内があり、1月5日までに事例を提出しての参加でした。

年末年始の忙しい時期に事例を書くという事は大変でしたが、事例シートに従って内容を記入していくという作業を行う事でアセスメントの結果が整理され、問題点が少しずつ見えてくるのを感じました。

研修会は渡部律子先生の「気づきの事例検討会」を参考に6～7人のグループに分かれての事例検討を中心としたものでした。グループの中から選ばれた、1つの事例について司会者が進行役となり、他のメンバーが事例提出者に事例についての質問をしていきながら一緒に考えていくという内容でした。

日頃スーパーバイズを受ける機会がなかなかない中、今回のような事例検討の研修会が各地域包括の範囲や各事業所内で定期的に関われるようになれば、横のつながりも広がり、共に実践力を高めていく事ができるのではないかと思います。

## 松江市ケアマネジャー研修会に参加して

全労済在宅介護サービスセンターほほえみ  
内田正樹



2月20日(土)「効果的な担当者会議をするために」と題して、立正大学の國光教授を講師に迎えての研修会に参加してきました。

平成17年度の制度改正でのケアマネジメントの実態の中で、ケアカンファレンスが不十分との評価があり、制度改正後の開催頻度は高くなっていることが分かりました。

ただし、開催しないことが減算の対象になっていることから「とりあえずの開催」として行っていると、形骸化するおそれもあることが分かりました。

今回の研修では、担当者会議は、チームカンファレンスであるという基本に立ちかえり、開催までのプロセスや、運営のポイント方法等を学習することが出来ました。

また、「担当者会議ワークシート」を利用し、終了した会議を検証することも必要だということも学びました。

私自身、担当者会議の運営(展開)は、毎回試行錯誤です。今回の研修を今後の業務に生かせたらと思います。



## ～ケアマネジャーのための認知症研修に参加して～

### 「認知症への総合的ケア」

訪問看護ステーションやすらぎ  
加藤典子



2月25日(木) いきいきプラザに於いて開催された、標記の研修会に参加しました。介護支援専門員を始め、グループホームの職員等120名近くの参加者でした。

こころの診療所の細田先生から、精神医学における認知症のあり方・対応の変化について導入部分から惹きこまれる内容でした。背景に老年期の喪失体験があり、長い人生の歴史、心のあり様を聞くこと、配慮することが後々のケアに役立ち繋がって行くことの大切さを再認識しました。

また、早期診断・対応の必要性は理解してはいますが、初期認知症徴候観察リスト(OLD)の項目や長谷川式簡易スケールを利用できる手段を私たちが持ち、医療につなげて早期に診断・治療を開始するためのゲートキーパーとしての役割と同時に難しさも実感しました。また、環境・身体状況の変化等で生じる、せん妄について、訪問看護に於いては実際に遭遇する可能性も高く、早期に変化に気づき治療に結びつくよう観察の重要性を感じました。



生活そのものをケアとして組立て、ご本人・御家族が物忘れはあっても充実感を持ち、安心して暮らせるように支援をしていくことが高齢者の尊厳を支えるケアの確立につながっていくと研修を通して感じました、実践していきたいと思いました。

## ちょっと一息

### 部屋に入るとき…

「ノック」…①打つこと。たたくこと。②訪問や入室を知らせる合図に戸を軽くたたくこと。③野球で守備練習のため野手に向けてボールを打つこと。ここでは②の「ノック」についてお話をさせていただきます。

ドアを開けるときには必ずノックをしますよね。「これから入りますよ」という合図になるわけですが、ノックの合図とともに中の人には体勢を整えることができ、「どうぞ」という返事を返すこととなります。

「何回叩いて入りますか？」この問いに多くの人から「2回叩く」という答えがかえってきました。

一般的になっていますが、これは日本だけで「ノック」には叩く回数で意味が違います。

2回…トイレノック。トイレに人が入っているときはこれ。

3回…プライベートノック。恋人や夫婦の部屋に入る前にはこちら。

4回…正式ノック。仕事や人の家を訪ねたときに使います。

日本での「ノック」は2回でも理解されそうですが、公式な場所や海外などへ出掛けた際にはご注意を！！  
でも、4回ノックはしにくいかも(´▽`)

足立 新之介

## 編集後記

ケアマネの皆さん、最近困りごとはありませんか。私は訪問先の玄関で利用者の名前を呼んでも聞こえず、なかなか出て来てくれないことです。特にここ数日は冬季オリンピック中継をボリュームを上げて見入っているせいか、全く気づいてくれません。

とは言え、日本のメダルの数は少ないけれど、どの選手も輝いていましたね。

我々、ケアマネも内面も外面も輝いていたいものですね。

(S・W)